

キーワード（新感染症の基礎知識「筒井書房」から）

流水に勝る消毒剤はない

感染が起こるのは、菌の数が一定量を超えた時。
菌数を減らすことが感染防止につながる。
流水で菌を洗い流すことは、最も身近で有効な感染防止対策。

手洗いを確実な方法で

できるだけ石鹸を使う。
流水下で強めにもみ洗いすれば短時間でほとんどの菌は除去できる。

もみ洗いの基本

- 1・手のひらをよくこする
- 2・手の甲をこすり洗い
- 3・指先を入念にこする（爪先）
- 4・指の間を十分に洗う
- 5・親指と手のひらをねじり洗い
- 6・手首も洗う

消毒剤使用時

消毒剤を使うときにも、
まず流水で洗ってから使ったほうが効果的。

肝炎について

肝炎とは

1. ウイルスなどによる肝臓の炎症です。
2. 日本人の肝臓病の80%は、肝炎ウイルスが原因です。

ウイルス性肝炎の種類

1. A型肝炎…急性肝炎のみ（慢性化しない）
2. B型肝炎…血液などが感染源。慢性化することあり。
3. C型肝炎…血液などが感染源。慢性化することが多い。感染力は弱い。
4. D型肝炎…日本には非常に少ない。
5. E型肝炎…日本には非常に少ない。

注意しなければならないのはB型とC型です。
どちらも進行すると慢性肝炎→肝硬変→肝臓がんになる危険性があります。

B型肝炎の検査

血液検査で、HBs抗原（B型ウイルスがいるかどうか）
HBs抗体（B型ウイルスに感染したことがあるかどうか）を調べます。

1. HBs抗原もHBsも（－）であれば、まったく正常。
2. HBs抗原が（＋）であれば、B型ウイルスを持っているということ。
この場合、Hbe抗原、HBe抗体というものを調べる
HBe抗原が（＋）であれば、感染力強く注意が必要。
HBe抗体が（＋）であれば、感染力は弱くあまり心配がないということ。
3. HBs抗体が（＋）であれば、B型肝炎にかかったが、もう治っているまたは
知らないうちに感染したが発病しなかったということ。

C型肝炎の検査

血液検査でHCV抗体（C型ウイルスがいるかどうか）を調べます。

1. HCV抗体（－）であれば正常
2. HCV抗体（＋）は、C型肝炎ウイルスをもっているということ。

…来月に続く。